

# 堂谷津の里から

堂谷津の里は、昨年より1か月遅れになりましたが、5月28日の会員による田植えに始まり、6月4日には「親子で米づくりと自然の体験」と千葉県科学館主催の「ちばフィールド探究クラブ2022」の田植えが続き、6月11日のちびっこ田植えを最後にすべての田植えを終了しました。今後は、中耕除草機や手取りによりコナギなどの除草を行い、成長を見守っていきます。また、6月14日に開催した総会では、2021年度事業報告、決算報告が承認され、次期役員が決められました。

堂谷津の里は、自然観察を楽しむ場でもありますが、東邦大学の小澤さん（現在、修士課程に在学中）は、卒業研究のフィールドとして堂谷津の里に通い研究を進め、今回、その成果である2021年度卒業研究論文の要旨を寄稿して頂きました。

## 【田んぼでは】



親子体験種まき



毎日交代で温度管理、水やりなどしてハウス内で育苗



種まきから10日後、田んぼに移動して育苗



会員による田植え



探究クラブによる田植え



親子体験各家族の田で田植え



ミニ田んぼで、ちびっ子田植え



中耕除草機による除草

## 里山における中型哺乳類の土地利用に及ぼす人為的攪乱と他種の影響

東邦大学行動生態学研究室 小澤知世

## 【序論】

近年、国際的に農村部から都市部への人の移動が進んでおり、都市生態系に関する研究が注目を集めている。都市化が哺乳類に与える影響は種によって異なり、森林が優占する景観で多く発見される種だけでなく、都市化が中程度の景観で多く発見される種もいる。一方で人間活動は動物に負の影響を与えることが知られており、都市化が中程度の景観における哺乳類の活動は人為的影響を受けている可能性がある。本研究では人口の多い首都圏郊外に位置する千葉県の里地里山を調査地とし、哺乳類の土地利用に与える人為的影響について調査するために自動撮影カメラを用いた調査を行った。

## 【方法】

千葉県内の谷津田である千葉市の堂谷津の里（約15ha）と野田市の江川地区（約90ha）で調査を実施した。堂谷津の里は主に広葉樹林と針葉樹林で構成され、定期的に森林内で草刈りや伐採などが実施されていたため、植生と人間活動を考慮し、計4台のカメラを4月中旬～12月中旬にかけて設置した。江川地区は広葉樹林と竹林で構成され、車道が近かったため、植生と交通量を考慮し、計4台のカメラを7月末～11月下旬にかけて設置した。カメラ前に正三角形の調査区画を設定し、そこに侵入した哺乳類の個体数を解析することで撮影範囲を均一化した。人為的影響について明らかにするために、目的変数に哺乳類各種の個体数、誤差分布にポアソン分布、説明変数に植生、人為的影響、季節、対象種以外の撮影個体数を設定し、一般化線形モデルを実行した。

## 【結果・考察】

イエネコ、ネズミを除く調査区画で撮影された哺乳類は堂谷津の里で118頭、江川地区で419頭であり、撮影個体数の多かったアナグマ（堂谷津の里：25頭）、タヌキ（堂谷津の里：61頭、江川地区：362頭）、アライグマ（堂谷津の里：17頭、江川地区：47頭）、ハクビシン（堂谷津の里：9頭、江川地区：5頭）について、詳細な解析を行った。調査区画に侵入した1日1台あたりの撮影個体数の平均は、堂谷津の里と江川地区において、それぞれアナグマで0.008頭と0頭、タヌキで0.018頭と0.225頭、アライグマで0.005頭と0.031頭、ハクビシンで0.003頭と0.003頭であり、江川地区でのタヌキ、アライグマの撮影頻度が高かった。一般化線形モデルの結果、堂谷津の里では、ハクビシンを除く3種は人間活動の多いところを好むことが示唆された。とくにタヌキでは、人間活動の多い広葉樹林の利用が多かったことから、定期的に草刈りや伐採が行われている環境で節足動物やミミズなどの餌が得やすいと考えられた。一方、江川地区では、タヌキ、アライグマ、ハクビシンの3種すべてで交通量が多い環境に近い場所での発見頻度が低かったことから、交通量はいずれの種にも負の影響を与えていることが示唆された。本研究により、伐採や草刈りなどの伝統的な里山の活動は、一部の哺乳類において土地利用の増加につながるが、交通量の多い環境は哺乳類のどの種においても土地利用の低下につながることを示された。



＜カメラに自動撮影されたタヌキ＞

## ＜情報コーナー＞

6月14日の理事会で、代表理事に斎藤幸一、副代表理事に月川憲次、二宮豊の2名が選出されました。会員の皆さんと力を合わせて里山の再生を目指し活動していきますので、よろしくお願ひします。

## NPO 法人バランス 21

E-mail:yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://balance21.jimdo.com/>

連絡先：千葉市若葉区谷当町 70

TEL &amp; FAX:043-239-0645（現地）